



「やさしく豊かな心を持ち、共に学び、共に育つ 北小っ子」に！

6年生 「修学旅行」特集

6月25日（水）より2泊3日で、6年生が広島・香川方面への修学旅行を実施しました。

朝早くから豊島野公園で出発式を行いました。実行委員さんの司会としっかりとしたあいさつの後、バスに乗車し新大阪へ。たくさんの保護者のみなさん、お見送りありがとうございました。

新幹線のぞみ号の中ではおしゃべりやカードゲームで盛り上がっていました。

新幹線をおり、路面電車にのり平和公園へ。路面電車に初めて乗った人も多かったです。平和記念資料館ホールで、語り部の方に、被爆体験の伝承講話をしていただきました。しっかりと話を聞いたり、メモをとったりしている姿がすてきでした。戦時中の暮らし、原爆がヒロシマに与えた被害、被爆体験の様子を語ってもらいました。私たちにできることは「まず、知ること、理解すること、考えること」というメッセージをもらいました。また、「戦争で一番傷つくのは、国でも、都市でもなく、ただ人なのです。」と伝えてもらいました。質問タイムの時間をとってもらい、質問できた人もいました。



班ごとに平和資料館を巡りました。資料館の中は、たくさんの外国人の方や修学旅行生がいました。その後、原爆の子の像の前での平和セレモニー。実行委員さんの司会のもと、代表のあいさつのあとに全校生に作ってもらった折り鶴をささげました。黙祷の後には「折り鶴」を歌いました。その後、班ごとに平和公園のフィールドワークを行いました。

平和公園をバスで出発し、宮島口へ。フェリーに乗り、宮島の1泊目の宿舎に到着しました。



修学旅行2日目は快晴でした。厳島神社の見学。満潮に近づく時間でした。建物のすごさ、色合い、柱や天井に映る水に跳ね返った光、神社から見る景色などに心が動いている人も多かったです。



そして、楽しみにしていたおまちかねのお買い物タイム。この店は割引がある、誰に何を买おう、食べ歩きでこれを買おうなど、とても楽しそうに、商店街を何往復もしていました。途中に、お昼ご飯の広島焼き。食べ歩きでお腹いっぱいの人もありました。

午後からは、バスで瀬戸大橋を渡り、2泊目の宿舎に向かって移動。途中休憩での与島SAでは、瀬戸大橋を見渡し、記念写真を撮りました。

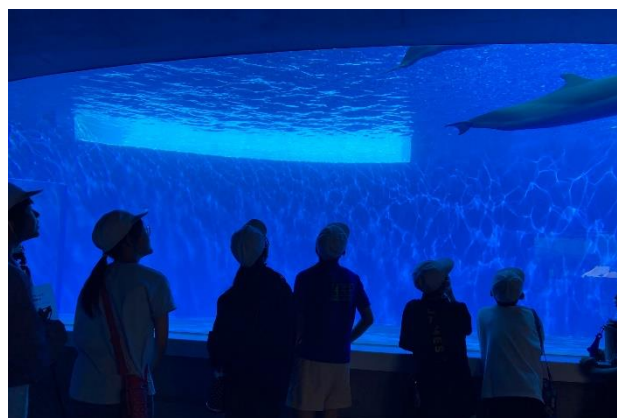


瀬戸内海を見渡せる高台のホテルに到着。さっそく今晚の晩御飯にもなる、うどん作りの体験です。うどん作りは各班で、粉を混ぜる、こねる、足ふみ、のばす、切る、を行っていきました。交代しながら、1人ひとり体験しました。茹でてもらったうどんを夕食で食べました。美味しかったです。広々とゆったりした絶景のお風呂を楽しみました。就寝時刻まで部屋でゆっくり過ごしました。



修学旅行3日目も快晴。四国水族館に行きました。水族館は展示水槽がとてもきれいでした。イルカのジャンプの様子も見ることができた人もいました。

そして、レオマワールドへ。レオマワールドでは、班で相談しながらたくさんのアトラクション



をまわっていました。何度も同じ乗り物に並びなおしたり、たくさんの種類の乗り物に乗ったり。時間いっぱいまで活動していました。

その後、淡路島をぬけて、豊島野公園への帰路につきました。

3日間、大きなケガや病気がなかったことが一番うれしかったことです。



出発式から「自分たちで、楽しい修学旅行を創っていこう」と伝えてきました。楽しむところをしっかりと楽しみ、盛り上げるところはしっかりと盛り上げ、聞く時には聞く。といった「メリハリ」のある行動をたくさん見る事ができました。そしてたくさんの元気と笑顔も見ることができました。6年生の良さがたくさん見られた修学旅行でした。

修学旅行の実行委員さん、就寝班の室長さんも、よくがんばりました。

修学旅行の様子は、学校ホームページにも掲載しています。
日々の子どもたちの様子とともに「北小っこの様子」をご覧ください。

